

（1）学習の状況と課題

- 1年 学習課題に意欲的で、全体として真面目な集団である。4月に実施した文京区学力定着度調査では、基礎は区の平均正答率を上回っているが、活用が下回っていた。観点別では、漢字の読み書きにおける力、文章の読解力が区の標準も全国の標準も下回っていた。
- 2年 集団としての学習意欲が高く、授業規律も身につけている。1年次の文京区学力定着度調査では、話す・聞く能力に関しては区の平均正答率を上回っているものの、他の観点においては区の平均正答率を下回っていた。
- 3年 学習意欲が高く、学習課題に意欲的に取り組んでいる。これまで話し合い活動を多く取り入れた授業を展開してきたので、話す・聞く能力は高まっているが、漢字の書きなどの言語事項や作文などの学力は、まだ十分とは言えない。

（2）指導改善の観点（課題解決のための具体的な授業改善策）

- 1年 漢字学習を継続して行い、漢字の定着を図る。また、文章を読解する際、根拠を明確にして自分の考えをもたせ、生徒同士で検討させる。
- 2年 主体的・対話的な学びを通して一人一人の話す力・聞く力・書く力・読む力を相関的に高めていく。
- 3年 話し合い活動を続け、話す・聞く能力をさらに高める。言語事項については、漢字や語彙を増やすだけでなく、日常的に使うよう促す。また、状況に応じて書く力をつけていく。

（3）指導方法改善のポイントと方策

- 1年 帯授業として漢字学習と辞書引きを行い、語彙力をつける。文章を読解する際は、文章を根拠にして自分の考えをもたせ、ペアワークやグループワークを通じて検討させる。
- 2年 意欲を引き出す発問をし、自分の考えをノートに書かせ、ペアワークやグループワークで意見を交換させることで、一人一人の力を相関的に高めていく。
- 3年 話し合いだけではなくスピーチも取り入れ、個々の能力を高める。作文については、手順を明確に示すことにより、抵抗感をなくし誰でもが書けることを実感させる指導を行う。